

平成11年8月31日

大日本スクリーン製造株式会社
富士写真フイルム株式会社
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社
(アルファベット順)

～高速ネットワーク上で運用する印刷製版・広告・出版業界向け通信アプリケーション～
「GTRAX(ジートラックス)」の実用化トライアル開始

大日本スクリーン製造株式会社(以下大日本スクリーン 本社：京都市上京区 代表取締役社長：石田 明)、富士写真フイルム株式会社(以下富士フイルム 本社：東京都港区 代表取締役社長：宗雪 雅幸)、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社(以下NTTコミュニケーションズ 本社：東京都千代田区 代表取締役社長：鈴木 正誠)の三社は印刷製版・広告・出版業界の変革と活性化に貢献する通信アプリケーション「GTRAX(ジートラックス)*1」を共同開発し、平成11年9月1日からトライアルを開始します。

印刷製版・広告・出版業界では、顧客ニーズの多様化と短納期化、また企画から印刷までの全工程の合理化といったニーズが広がっています。このようなニーズに応えるため、「GTRAX」はネットワークを介してデジタル機器を統合することで、クライアント、デザイン制作会社、製版・印刷会社間で距離や時間に制約されない制作環境を提供し、制作工程の大幅な省力化と制作コストの削減を実現いたします。このように、企画から印刷までのプロセスや企業間を有機的に接続することでコンカレントパブリッシング*2を実現させるアプリケーションと言えます。

*1 GTRAX 本商標は現在3社で共同出願中

*2 コンカレントパブリッシング

ネットワークデータベースを使うことにより、印刷物制作の企画から印刷・出版までの全工程を同時に、かつ並列に進行すること。

進行状況や決定事項を全工程の作業者が把握することで、制作期間の大幅な短縮、コストの削減が期待できる。

1. 概要

都内に設置するGTRAXセントラルサーバに参加企業がデータアクセスすることで大容量のコンテンツファイルを効率的にデジタル配信することが可能になります。これを印刷物の企画、制作から印刷までの一連のワークフローに利用することにより、実務作業に対する「GTRAX」の有効性確認(納期短縮、コスト削減等)及び機能・性能等の技術的実験を行います。

2. 「GTRAX」の特長

(1) 全国各地からのデータアクセス

- ・全国各地からニーズに応じてダイヤルアップを含む64Kbpsから数Mbpsの回線速度でセントラルサーバにアクセス可能ですので、印刷用の大容量コンテンツの効率的な流通が実現できます。
- ・クライアント、広告代理店、デザイン制作会社、印刷会社間で利用でき、これらの間のコミュニケーションのボーダーレス化が図れます。
- ・全国約110箇所にあるNTTコミュニケーションズのアクセスポイントの利用が可能となります。これによりユーザーは最寄りのアクセスポイントからの接続が実現でき、コスト低減が図れます。

(2) 印刷製版・広告・出版業界の用途に適した機能

- ・デジタルコンテンツ転送支援機能*3
- ・リモートプルーフ機能*4

プリプレス、プレスのシステムとの連携機能の搭載をはじめ、参加企業のニーズに応じ、継続して機能追加を行います。

*3 デジタルコンテンツ転送支援機能

データ圧縮、暗号化、ステータス表示機能(送受信状況の確認)、レジューム(送受信中の中断からの再開)、JOBチケット(コンテンツに受信側到着後のプリンタへの出力などの動作命令を添付)など、確実に効率的なデータ送受信をサポートする機能を実装。

*4 リモートプルーフ機能

印刷会社から顧客(発注者)に校正用データを通信で送り、顧客側のプルーフやプリンタに自動出力し、効率的に校正チェックを行える機能。

(3) オープンな使用環境

- ・クライアントソフトとして、Macintosh、Windows、UNIX版をリリースします。
- ・クライアントソフトのプラグイン仕様開示を行いますので、サードベンダーやユーザー自身が機能拡張を行うことができます。

3. トライアル期間

平成11年9月1日～平成12年3月31日

なおトライアル期間中は基本となるクライアントソフトは無償で利用できます。

4. 3社が共同開発した背景

プリプレスから刷版までの印刷機器の国内トップメーカーである大日本スクリーンと製版・印刷用感光材料を中心とした印刷機材のトップメーカーである富士フィルムが提携することにより、これまで両社が印刷製版・広告・出版業界向け商品の開発・製造・販売で蓄積した技術・ノウハウを活かして業界に対して最適なシステムが広く提供できます。

また、各種ネットワークインフラの構築・運営ノウハウを持つNTTコミュニケーションズと連携することにより、効率的で安全なデータ配信を実現できる環境を提供します。

5. 今後の予定

トライアル結果をもとに、更なる機能改善を行い商用サービスの基幹アプリケーションとしていきます。

文中の各商品名は各社の商標、登録商標です。

本件に関するお問い合わせ先

<お客様用>

大日本スクリーン製造株式会社
グラフィックアーツ事業本部 サービス統轄部
システムインテグレーション部 GTRAX担当
TEL:075-352-7845 FAX:075-352-7810
E-mail:gtrax@screen.co.jp

富士写真フイルム株式会社
印刷システム部 GTRAX担当
TEL:03-3406-2258 FAX:03-3406-2911
E-mail:gtrax@tokyo.fujifilm.co.jp

NTTコミュニケーションズ株式会社
ソリューション事業部第三営業部 GTRAX担当
TEL:03-3500-9540 FAX:03-3500-6051
E-mail:gtrax@ss.bch.ntt.co.jp

<報道関係者様用>

大日本スクリーン製造株式会社 広報室
TEL:075-414-7131 FAX:075-431-6500
E-mail:newsrelease@screen.co.jp

富士写真フイルム株式会社 広報部
TEL:03-3406-2490 FAX:03-3406-2909
E-mail: newsinfo@tokyo.fujifilm.co.jp

NTTコミュニケーションズ株式会社 広報室
TEL:03-3500-8020 FAX:03-3539-3084
E-mail:info@ntt.com

「GTRAXの概要」

